

ファイナリスト紹介

東海・北陸地区代表

昭和94年から令和へ！ 「ひよんなことから始まる夢物語」

桜和設備株式会社 清水 敦 氏

ガスの設備工事の設計・施工を手がける桜和設備株式会社。清水氏は現場一筋40年の62歳、そしてディズニーランドの大ファンだ。kintone導入前の当社は昭和からの伝統がそのままのアナログ企業。紙管理や属人化が常態化。そんな時、Excelで管理していたあるファイルが壊れてたことからkintoneの導入がスタート。だが、社内からは反発の声も上がる。「今のままでいいじゃないですか」「私はkintone使いません」と。そこで清水氏はとある作戦を展開する。それは大好きなあの場所にも通ずる「入り口は一つ！」作戦だった。

中国・四国地区代表

最悪な状況からのV字回復！ 「介護業界をkintoneで変えてみよう！」

株式会社LILE THE STYLE 谷川 実 氏 / 木原 隆太 氏

訪問介護や高齢者向け住宅の運営などの介護事業を行う株式会社LILE THE STYLEで、介護DXに取り組むこととなった谷川氏と木原氏。しかし現場は8年間で管理者が6回変わる、退職の嵐、過去最低の売上、導入しているはずのkintoneは全く使われていないという最悪の状況だった。アプリの工夫や環境の整備をするも使ってもらえなかったが、徹底的に伴走したことで見えてきた「とある視点」が状況を変える。その末に生まれた驚異的な成果とは。

関西地区代表

kintoneで基幹システムをリプレイス！ 「僕とkintoneの最優記」

株式会社ワイドループ 川咲 亮司 氏

物流機器のリユースを行う株式会社ワイドループ。東大阪の拠点でマルチに活躍する川咲氏は、従来の基幹システムのもとに行っていた運用に限界を感じていた。そんな中、社長からの声掛けをきっかけにkintoneを導入することに。業務日報アプリや同僚に日頃の感謝を伝えられる39アプリなどの運用を経て、基幹システムのリプレイスへ。パートナーとの綿密な連携や、的確な業務整理に加え、リプレイスを成功に導いた一番の秘訣はなんだったのか。

北海道・東北地区代表

衆知を結集すれば加速する！ 「人を巻き込みながらの業務改善」

株式会社北斗型枠製作所 渡邊 克史 氏

コンクリート製品を作るための鋼製の「型枠」を製造する株式会社北斗型枠製作所で、営業といつの間にかなっていたというシステム担当を兼務する渡邊氏。営業・製造・総務経理の各部署では、アナログ運用での時間効率の悪い仕組みが当たり前になっていた。そんな中、社長からの鶴の一声でkintoneの導入が決まる。導入過程で渡邊氏が掲げたのは「『ワイガヤ』によるチームワークの開発」と「各部署のキーマン『匠』のプロジェクトメンバーへの選定」だった。その真意とは、そしてどんな効果をもたらしたのか。

九州・沖縄地区代表

世界一の整備チームになるために。 「今と未来、繋ぐ～結いの空～」

日本エアコミューター株式会社 白崎 南海 氏 / 西上 正浩 氏

JAL(日本航空)グループに所属する日本エアコミューター株式会社は鹿児島県内の離島を中心に就航する小さな航空会社だ。整備部門に所属する白崎氏と西上氏は、kintone導入前、情報の分散を起因とした力技で解決する業務運用によるチームワーク崩壊の危機に直面していた。そんな時に現れたのはJALからやってきたkintoneを知る救世主。kintone浸透のために決めたのは「業務をシンプル化すること」「標準機能でアプリを作る」をベースにすることだった。その極意とは。

関東・甲信越地区代表

「kintoneが支えるマネプロを みんなに活用してもらいたいんじゃ！」

株式会社成田デンタル 吉原 大騎 氏

歯科医院と歯科技工所の間立つ営業商社である株式会社成田デンタル。デジタル推進室に所属する吉原氏は、パッケージ版サイボウズ Officeの提供終了を契機に、これまでバラバラだったフォーマットとマネジメントを統一したkintone移行プロジェクト「全社営業マネジメント統一プロジェクト」を実行する。まずは「共感を得るしくみ」で経営層からのGOサインをもらい、実際に現場にアプリを体験してもらおう。スタートでは「人を動かすしかけ」を意識した環境を構築。これらが奏功し、スムーズな全社展開が実現。どんな「しくみ」「しかけ」が効果と呼び、会社の風土を変えたのか。